

第 62 回 遺伝 10～働きあい 2～

■ 不完全優性に関する問題が解ける。

<問> マルバアサガオの花には、赤・桃・白がある。純系の赤と白の個体を交配すると、生じた個体は全て桃であった。なお、赤の遺伝子を R 、白の遺伝子を r とする。

(1) 桃と白の個体を交配すると、子の表現型分離比はどうか示せ。

(2) 上記(1)で生じた個体を自家受精させた。子の表現型分離比を示せ。

(3) 上記(2)で生じた個体を、さらに任意交配させた。子の表現型分離比を示せ。

- ・ 解答略
- ・ 本番で「不完全優性だ」と見破れるかどうかポイント
- ・ 遺伝子の伝わり方自体は通常の遺伝と全く同じ